

## 第11号様式の10(第5条関係)

## 政務活動記録簿(年会費負担)

会派・議員名 樋口清士

年月日	令和元年5月17日他		
年会費名	奈良政策研究会・会費		
相手方	奈良政策研究会		
年会費支払目的	情報収集し、議会での質問に役立てるため		
按分率の説明	按分率 66.6% (懇談会の費用を除いて充当)		
活動内容等 ※年会費支払いの効果を明記のこと	<p>◆本会の活動内容 本県の県政発展に資する政策提言、及びその実現に係る活動。</p> <p>◆本会の活動頻度 年4回(2月、5月、8月、11月)に講演会を開催。尚、8月は県外研修を実施。</p> <p>◆参加者の状況 地方議員他、経営者や団体の役員等が参加。</p> <p>県政等に関する情報を収集し、議会での質問に活用した</p>		
経費	項目	金額	内容
	月会費	5,216円	講演会、懇談会(引落手数料216円を含む)
	月会費	5,220円	講演会、懇談会(引落手数料220円を含む)
※全て 66.6%充当		月 5,216円 (5,216円×66.6% = 3,473円)	
		10月～月 5,220円 (5,220円×66.6% = 3,476円)	
備考	添付資料：会規約		

注 年会費支払いの規約や会報の表紙等を添付してください。

# 奈良政策研究会規約

## (名 称)

第1条 本会は奈良政策研究会と称し、主たる事務所を大和高田市永和町  
10-26 近畿ビル内に置く。

## (目 的)

第2条 本会は奈良県発展に資する政策提言をとおして、安全、安心な  
地域づくりを目的とする。

## (事 業)

第3条 本会は前条の目的達成のため次の事業等をおこなう。  
(1) 研修会、懇親会の開催。  
(2) 政策提言のための委員会の開催。  
(3) 会報、出版物の発刊及び配付。  
(4) 関係諸団体との連携。  
(5) その他、会の目的達成のため必要な事業。

## (構 成)

第4条 本会は規約第2条の目的に賛同する奈良県議会議員、奈良県内の  
市町村議会議員をもって構成する。ただし、本会の目的に賛同す  
る個人及び法人の入会を認め、賛助会員として各種会合への出席  
を認める。

## (役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| (1) 会長……………1名  | (4) 政策委員長……………5名 |
| (2) 副会長……………2名 | (5) 会計……………1名    |
| (3) 幹事長……………1名 | (6) 会計監査……………2名  |

2 1の役員以外に顧問、相談役を置くことができる。

3 会長は本会の運営を円滑に進めるため役員会を開催する。

## (任 期)

第6条 役員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

(総会)

- 第7条 本会の総会は会員及び賛助会員によって構成される。総会は会長の招集により毎年1回開催する。ただし必要と認めた時は臨時総会を開催することができる。
- 2 総会は役員の選出、運営に関する基本事項、規約の改廃、その他本規約の定めのない重要な事項について決定する。
- 3 総会は会員の過半数の出席（委任可）で成立し、出席会員の過半数の同意で議決するものとする。

(運営)

- 第8条 本会の個々の事業運営は役員及び当該事業に関わる会員が行うこととする。

(経費)

- 第9条 本会の経費は会費（1口=月額5千円）及び賛助会費（月額個人1口=5千円、法人1口=1万円）、寄付金、協力金、事業収入、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

- 第10条 本会の会計年度は1月1日に始まり、当該年の12月31日に終わる。

(会計監査)

- 第11条 本会の会計責任者は本会の経理につき、年1回会計監査による監査を受ける。

(その他)

- 第12条 本規約のほか運営に必要な事項は、別に会長が定め総会の承認を経て実施することができる。

付則 本規約は平成16年11月25日から施行する。

## 第11号様式の3（第5条関係）

## 政務活動記録簿（研修会参加）

会派・議員名 樋口清士

年月日	令和元年7月7日（日）15:00～17:00				
政務活動先	大阪城パークセンター・大阪城公園				
研修名	日本都市計画学会関西支部 令和元年度 第1回フィールドワーク				
参加者	66名（大学教員、行政職員、民間企業、学生等）				
参加目的	都市公園のマネジメント手法についての知見を得るため				
内容、結果等	<p>講演：</p> <p>「大阪市の公園の取組」について            （大阪市経済戦略局観光部集客拠点課長代理 坂本恵子氏）</p> <p>「大阪城PMO事業の概要」について            （大阪城PMO(株)取締役 米田巳智泰氏）</p> <p>大阪城公園内視察：            （森ノ宮～本丸～ジョーテラス・オオオサカ）</p>				
※研修受講の効果を明記のこと	研修の効果：大阪城公園において導入されたパークPFIの内容を把握し、奈良県内都市公園の管理運営のあり方を検討する際の参考とする。				
研修参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	大阪城公園	近鉄（往復）	生駒～鶴橋	700 円	証1
		JR西日本	鶴橋～森ノ宮	120 円	証2
		JR西日本	大阪城公園～鶴橋	120 円	証3
	宿泊費	円	内訳：		
	研修費	円	内訳：		
	合計	940 円（ ）			
備考	添付資料：別紙の通り				

注 研修に関する資料や会場の写真等を添付してください。

# 見せます！大阪城公園の舞台裏!!

## ～パークマネジメントの導入と賑わいについて～

### ■ 趣 旨

日本都市計画学会 関西支部 企画委員会では事業の一環として都市開発にかかるフィールドワークに取り組んでいます。昨年度は2回実施し、先導的パークマネジメントを実践している天王寺公園「てんしば」と京都五花街の一つである先斗町を視察しました。

今年度第1回目となる今回は、その大半が国の特別史跡に指定されており日本を代表する城郭遺跡であるとともに、大阪を代表する観光地である大阪城公園を対象としました。大阪城公園は従来大阪市が都市公園として維持管理しており、その時代にも天守閣の年間入場者数が150万人に上る観光スポットではありましたが、「滞在時間が短い」とか「売店しかなく不便」、「使われていない歴史的資産がある」などといった声もありました。

より一層の観光拠点化を進めるため、平成27年度に、公園を一体的に運営するパークマネジメント事業を導入し、電通を代表とする5社の民間企業が20年間の運営を行うこととなりました。旧第四師団司令部庁舎が「ミライザ大阪城」(アミューズメントを含む商業施設)に、また、新たに「ジョー・テラス・オオサカ」(カフェなどの商業施設)もオープンし、今では、国内外から一層多くの方々が訪れる賑わいのある公園として、年間1,000万人を超える集客を誇る大阪屈指の観光スポットに変貌しました。

そこで、大阪・関西を代表する大阪城公園のパークマネジメントを知るべくフィールドワークを開催します。

### ■ 開催要領

◇日 時：令和元年7月7日（日曜日） 15:00～17:00（雨天決行）

### ◇行 程：

14:30 受付開始 @大阪城パークセンター  
(次ページのアクセスマップをご覧下さい)

15:00～16:00 大阪城公園を説明 @大阪城パークセンター 2階小ホール

○「大阪市の公園の取り組み」について

大阪市経済戦略局観光部 集客拠点課長代理 阪本 恵子さん

○「大阪城 PMO\*事業の概要」について

大阪城 PMO（株）取締役 米田 巳智泰さん

16:00～17:00 大阪城公園内視察（森ノ宮～本丸～ジョー・テラス・オオサカ）

\*2km以上歩きますので歩きやすい服装でご参加下さい。

17:30～ 懇親会@ジョー・テラス・オオサカ（希望者のみ）

※PMO：パーク マネジメント オーガニゼーション。公園を民間企業で管理・運営することで利益を公園の魅力向上につなげることを目的とした組織。

◇定 員：60 名（先着順）

◆參加費：無 料

※学会員の方は会員証を受付でご提示下さい。

※懇親会は別途、会費制（3,500円程度）となります。

◆ 申込方法：学会HPにある申込フォーム

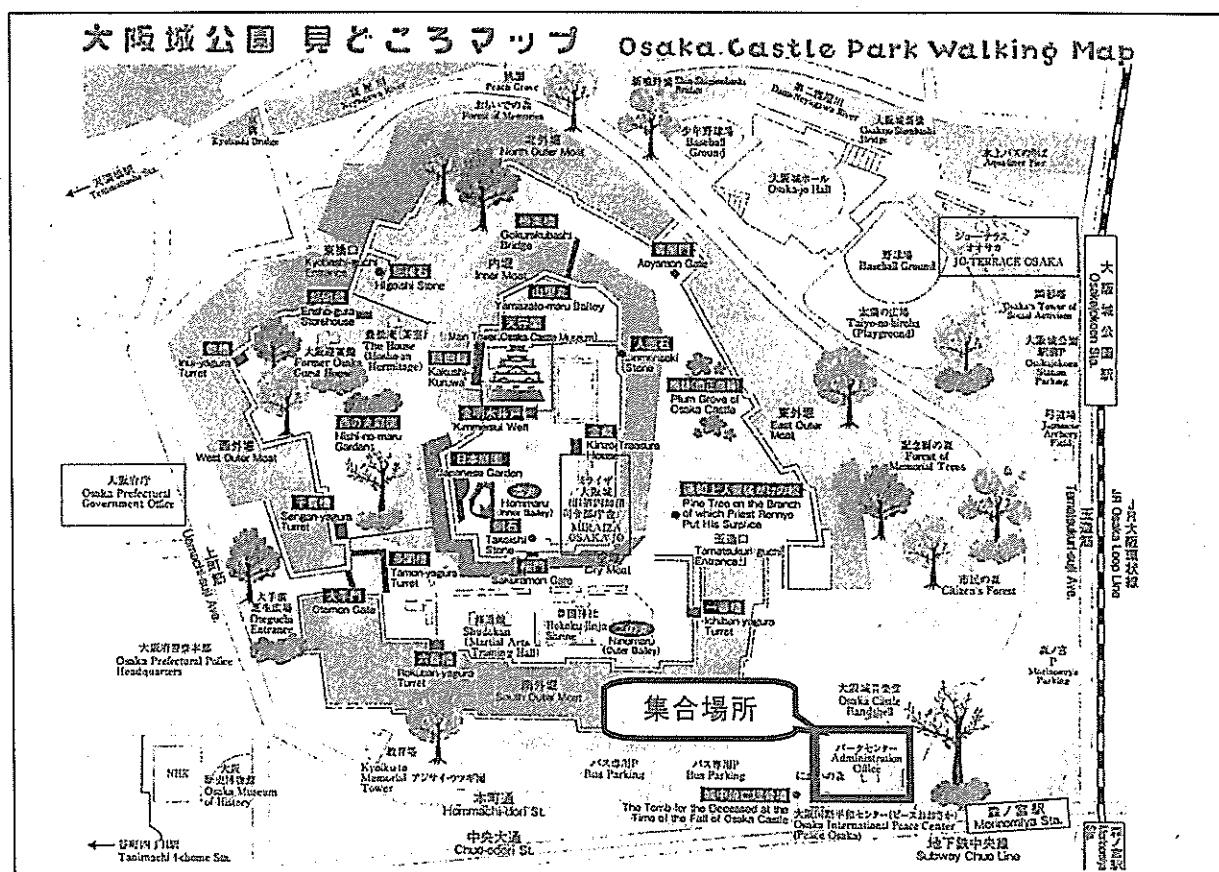
([http://www.cpij-kansai.jp/cmt\\_plan/top/plan.html](http://www.cpij-kansai.jp/cmt_plan/top/plan.html))

にて、所属・氏名(ふりがな)、連絡先、会員・非会員の別を入力・記載の上、7月1日(金)までに申し込んで下さい。

なお、参加者に対しメールにて連絡を行うことがありますので、可能な限りメールアドレスをご記入下さい。(得られた個人情報は今後のご案内に利用させて頂く場合があります) また、申し込み後は原則としてそのままご参加いただけます。定員超過などの場合のみご連絡致します。

◇ 当日連絡先：田中 利光（企画委員） 携帯：090-2356-0852

## ■ アクセスマップ



・JR「森ノ宮」駅から徒歩約5分

・地下鉄「森ノ宮」駅から徒歩約5分

・森ノ宮駅から道路を対角に渡り円形噴水へ。その後ローソン沿いの道をまっすぐ進むとパークセンターが見えます。

注) このフィールドワークは「都市計画 CPD」認定プログラム(予定)です。

申込先：(公社)日本都市計画学会関西支部事務局

(株)地域計画建築研究所 内

TEL:06-6205-3600 FAX : 06-6205-3601



# 都市計画学会関西支部 令和元年度 第1回フィールドワーク

## 大阪城公園の舞台裏!!!!

### ～パークマネジメントの導入と賑わいについて～

#### ■ 趣 旨

日本都市計画学会関西支部では、都市開発にかかるフィールドワークに取り組んでいます。昨年度は先導的パークマネジメントを実践している天王寺公園「てんしば」と、京都五花街の一つである先斗町を視察しました。

今年度第1回目は、その大半が国の特別史跡に指定されており日本を代表する城郭遺跡であるとともに、大阪を代表する観光地である大阪城公園を対象としました。大阪城公園は、従来、大阪市が都市公園として維持管理しており、天守閣の年間入場者数が150万人に上る観光スポットでしたが、「滞在時間が短い」とか「売店しかなく不便」、「使われていない歴史的資産がある」などといった声もありました。

より一層の観光拠点化を進めるため、平成27年度、公園を一体的に運営するパークマネジメント事業を導入し、5社の民間企業が20年間の運営を行うこととなりました。旧第四師団司令部庁舎が「ミライザ大阪城」(アミューズメントを含む商業施設)に、また、新たに「ジョー・テラス・オオサカ」(カフェなどの商業施設)もオープンし、今では国内外から一層多くの方々が訪れる賑わいのある公園として、年間1,000万人を超える集客を誇る大阪屈指の観光スポットに変貌しました。

#### ■ 開催要領

◇日 時：令和元年7月7日（日） 15:00～17:00

◇場 所：大阪城パークセンター

◇参加者：66名

◇内 容：

○「大阪市の公園の取り組み」について

　　大阪市経済戦略局観光部集客拠点 課長代理 阪本 恵子氏

○「大阪城PMO事業の概要」について

　　大阪城パークマネジメント（株） 取締役 米田 巴智泰氏

○大阪城公園内視察（森ノ宮～本丸～ジョー・テラス・オオサカ）

#### ■ 開催概要

○「大阪市の公園の取り組み」について / 阪本 恵子氏

##### 大阪城公園の特徴

- ・大阪城公園は約105haあり、大阪市の市営公園の1割を占める面積を誇る。
- ・大阪でほぼ唯一の歴史公園重要文化財。
- ・大阪城公園の7～8割は特別史跡というエリアであり、公園の中に文化財が点在しているのではなく、公園と文化財が一体となつ



ている。

- ・市政モニターのアンケートでは、「大阪市内で最も好きな縁」の項目で、常に1位。

### 大阪城公園の整備と管理

- ・昭和32年に作成した大阪城公園設計案では、天守閣は観光客向け、それ以外は都市公園として位置付けている。
- ・大阪市の財政も厳しくなると同時に、利用者のニーズの多様化し、管理が難しくなってきた。



### 大阪城公園 PMO 事業に至るまで

- ・大阪市では、平成23年度から公園の民間事業者による指定管理導入の本格的な検討を開始した。
- ・それまでは大阪城公園は文化財保護法の規制の多さ、敷地が広大であるため民間による指定管理が難しいのではと考え、本格的には検討していなかった。
- ・地域経済の起爆剤に大阪城を活用できないかと考え、平成23年度に観光課の中に大阪城魅力担当という部署を新設した。
- ・指定管理者と売店運営者をセットにし、納付金を頂くスキームで、事業性を確保している。

### 現時点での結果

- ・指定管理者による新事業も認め、事業者の新サービス導入等により天守閣の入場者数は過去最高になるなど好循環が生まれている。
- ・グループ企業による指定管理のため、単体企業の収支を無視できず、一体管理への障壁が生まれている課題がある。
- ・指定管理者が独占使用できないため、戦略的管理への障壁が生まれている。
- ・行政経費の削減は億単位でできており、市民にとってプラスであるが、それが見えにくく、儲け主義になっているという意見が出ている。効果の見える化が必要である。
- ・大阪城公園は、都市公園と文化財が融合したものを目指している。今後、文化財として価値を上げるための投資をしていく必要がある。

### ○「大阪城 PMO 事業の概要」について / 米田 巴智泰氏

- ・大阪城公園は広大な公園で、大阪城音楽堂や大阪城ホール等の文化施設や弓道場、修道館などスポーツ関連施設などもある。
- ・天守閣入場者だけで、年間257万人規模。半分以上を外国人が占めている。
- ・平成30年に実施した動向調査では、日本人と外国人の割合が4:6だった。
- ・2012年に「大阪都市魅力創造戦略」において、大阪城公園が重点エリアに位置づけられ、民間



主体の事業者が公園全体を戦略的に一体管理するPMO事業を導入した。

- ・PMO事業では、指定管理者制度による公園の指定管理だけでなく、大阪城公園の観光拠点化に向け、既存未利用施設の活用な新たな魅力ある施設やイベントなどの導入が求められている。
- ・大阪城パークマネジメント(株)は、6社で構成されており、テナント・業務委託先・構成会社担当を除き、約100名規模で運営している。
- ・PMO事業者の業務範囲は、管理運営事業（施設の管理運営、許可権限等）に加え、魅力向上事業として、①既存施設の活用事業、②新たな公園施設の設置・管理、③回遊性の向上事業、④集客性の向上事業が含まれる。
- ・大阪市へは2億6,000万円を固定額として納付し、さらに全事業の収益から7%を変動納付金として納付している。昨年度は約3,000万円納付を行った。
- ・現在、主な魅力向上事業として実施している取組みは下記の通り。



#### 1. 既存施設の活用事業

- ・公園内の売店を全8ヶ所パークローソンとしてリニューアルオープン
- ・大阪城迎賓館は予約制レストランとしてオープン
- ・旧第四師団司令部庁舎（もと大阪市博物館）を改修し、“ミライザ大阪城”としてオープン

#### 2. 新たな施設整備事業

- ・飲食店を中心にインフォメーションや物販、ロッカーシャワーなどを備えたランナーサポート施設などの複合施設“JO-TERRACE OSAKA”を整備
- ・森ノ宮噴水エリアではレストラン、カフェ、児童遊戯施設、ボタニカルショーケースを開業
- ・劇場型文化集客施設として“COOL JAPAN PARK OSAKA”を本年2月にオープン

#### 3. 回遊性の向上事業

- ・エレクトリックカー、ロードトレインを導入

#### 4. 新たな集客&PRイベント

- ・大阪城御座船
- ・大坂城の櫓内部特別公開

- ・大阪では今後更に訪日外国人が増加すると期待されており、今後は、認知拡大に加え、「おもてなしサービス強化」に力を入れていきたい。

#### 質疑応答

Q: 当初の大阪市の仕様書に書いてなくて、発生したコストはあるのか。また、その費用は吸収できたか。あるいは、できなかった場合どうしたのか。

A: 日常の修繕は指定管理者、大規模は大阪市と決めているが、はっきりと金額で区分してないので、

その都度協議し、緊急度が高いものを負担している。また、旧第四師団司令部庁舎の改修整備では文化財上の制限等により、想定以上のコストがかかった。

Q：指定管理期間の20年でどのような姿を描いているか。

A：大阪市の立場として、共通のビジョンがないことが課題である。

個人的には歴史公園という点を大切にしていきたい。公共側でも歴史公園として頑張り、民間はソフト面（オペレーションやPR）を頑張るという役割分担で進めていきたい。

歴史公園なので、その点を充実させ、活用させていきたい。

Q：公募で事業者を決めたとのことだが、公募時点から内容に変更があったのか。

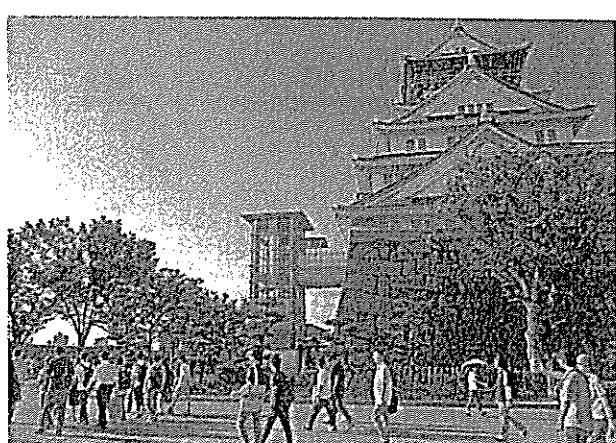
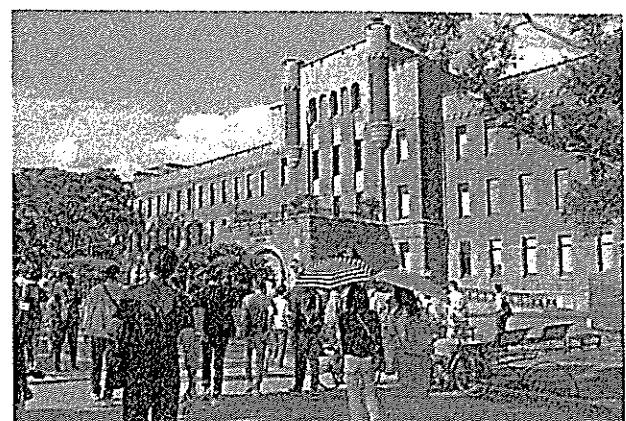
A：劇場が追加になったことと、用途が少し変更になった。自由度が高いと可能性が広がる。大阪城は柔軟に対応していく方針である。

Q：指定管理期間が20年と長いが、5年毎の見直しはどう考えているのか。

A：20年の事業なのに、当初、5年計画しか提出させなかつた点は反省している。公募の際、変更ありきでも20年の計画を出してもらい、都度見直していくべきだった。

Q：市民説明はどう進めたのか。

A：劇場の場合は公聴会を開いた。



大阪城公園での視察の様子

## 第11号様式の3(第5条関係)

## 政務活動記録簿(研修会参加)

会派・議員名 樋口清士

年月日	令和元年7月24日(水) 18:30~20:30				
政務活動先	立命館大学大阪梅田キャンパス5F多目的室				
研修名	日本都市計画学会関西支部 令和元年度 講演会				
参加者	40名(大学教員、行政職員、民間企業、学生等)				
参加目的	巨大地震、台風・集中豪雨に対する防災・減災に係る知見を得るため				
内容、結果等	<p>講演:</p> <p>「災害に先手を打ち 迎え撃つためには ～南海トラフ地震が教える減災への対策のあり方～」 (一般社団法人ADI災害研究所理事長 伊永勉氏)</p> <p>「いのちを守る防災気象情報 ～あなたとあなたの大切な人を災害から守るために～」 (一般社団法人ADI災害研究所理事 片平敦氏)</p>				
※研修受講の効果を明記のこと	研修の効果: 大規模地震、台風・集中豪雨に対する防災・減災の考え方を学び、奈良県における地域防災のあり方を検討する際の参考とする。				
研修参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	立命館大学大阪 梅田キャンパス	近鉄(往復)	生駒~長田	780円	証4
		大阪メトロ(往復)	長田~東梅田	560円	証5
	宿泊費	円	内訳:		
	研修費	円	内訳:		
	合計	1,340円( )			
備考	添付資料:別紙の通り				

注 研修に関する資料や会場の写真等を添付してください。

# 巨大災害にそなえるまちづくり ～南海トラフ巨大地震、台風・豪雨を迎え撃つ～

## ■ 趣 旨

わが国では近年、甚大な被害をもたらす災害が相次いでいます。平成以降だけをみても、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震などの巨大地震が起こっています。また豪雨被害としては、平成30年7月豪雨が記憶に新しいですが、平成29年7月九州北部豪雨、平成27年9月関東・東北豪雨など、さかのぼれば毎年のように何らかの災害が発生しています。災害は人的被害のほか、エネルギー供給の停止や交通・物流ネットワークの分断などによって都市や地域全体の機能喪失をもたらします。南海トラフ巨大地震は今後30年の間に70~80%の確率で起こると予想されており、また今年も台風や豪雨の季節を迎えようとしています。

そこで今回は、南海トラフ巨大地震や台風・集中豪雨等に関する最新の知見をご紹介いただくとともに、これらにそなえての「減災」の考え方や「自助」「共助」「公助」の役割分担を確認するため、下記のとおり講演会を開催します。奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

## ■ 開催要領

◇日 時：令和元年7月24日（水） 18:30~20:30 （18:15受付開始）

◇場 所：立命館大学大阪梅田キャンパス5F多目的室（大阪富国生命ビル内）

◇定 員：40名（先着順）

◇参加費：無料 非会員の方も参加できます（※会員の方は会員証を受付でご提示下さい。）

### ◇内 容：

18:15 受付開始

18:30 開会

18:35 講演

#### ○「災害に先手を打ち 迎え撃つためには

～南海トラフ地震が教える減災への対策のあり方～」

一般社団法人ADI災害研究所 理事長 伊永 勉 氏

#### ○「いのちを守る防災気象情報

～あなたとあなたの大切な人を災害から守るために～」

株式会社ウェザーマップ所属気象予報士

関西テレビ報道ランナー 気象キャスター

一般社団法人ADI災害研究所 理事 片平 敦 氏

20:30 質疑応答・閉会

◇申込方法：学会HPにある申込フォーム

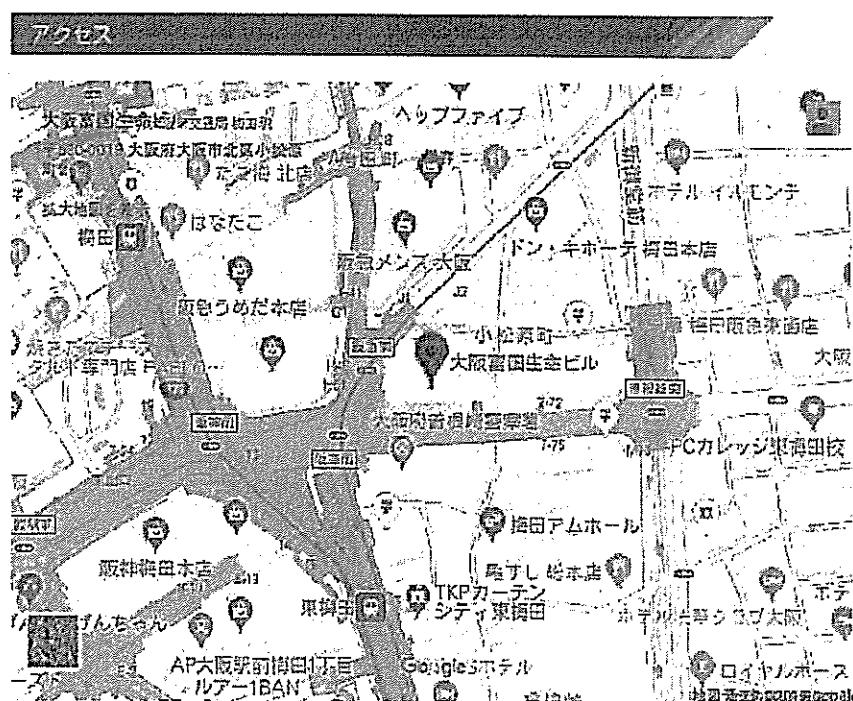
([http://www.cpij-kansai.jp/cmt\\_plan/top/plan.html](http://www.cpij-kansai.jp/cmt_plan/top/plan.html))

にて、所属・氏名(ふりがな)、連絡先、会員・非会員の別を入力・記載の上、  
7月19日（金）までに申し込んで下さい。

なお、参加者に対しメールにて連絡を行うことがありますので、可能な限りメールアドレスをご記入下さい。(得られた個人情報は今後のご案内に利用させて頂く場合があります) また、申し込み後は原則としてそのままご参加いただけます。定員超過などの場合のみご連絡致します。

◇当日連絡先：前田 陽子（企画委員） 携帯：090-9694-4139

■ アクセスマップ



大阪市北区小松原町 2-4 大阪富国生命ビル 5 階

- ・JR大阪駅南口より徒歩 5 分
- ・阪急梅田駅 2 階中央改札口より徒歩 5 分
- ・阪神梅田駅東改札口より徒歩 3 分
- ・地下鉄谷町線東梅田駅北東改札口より徒歩 1 分
- ・地下鉄御堂筋線梅田駅南改札口より徒歩 3 分

注) この講演会は「都市計画 CPD」認定プログラム（予定）です。

申込先：(公社)日本都市計画学会関西支部事務局

(株)地域計画建築研究所 内

TEL:06-6205-3600 FAX: 06-6205-3601

## 都市計画学会関西支部 令和元年度 講演会

### 巨大災害にそなえるまちづくり～南海トラフ巨大地震、台風・豪雨を迎える～

#### ■趣旨

わが国では近年、甚大な被害をもたらす災害が相次いでいます。平成以降だけをみても、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震などの巨大地震が起こっています。また豪雨被害としては、平成30年7月豪雨が記憶に新しいですが、平成29年7月九州北部豪雨、平成27年9月関東・東北豪雨など、さかのぼれば毎年のように何らかの災害が発生しています。災害は人的被害のほか、エネルギー供給の停止や交通・物流ネットワークの分断などによって都市や地域全体の機能喪失をもたらします。南海トラフ巨大地震は今後30年の間に70～80%の確率で起こると予想されており、また今年も台風や豪雨の季節を迎えようとしています。

そこで今回は、南海トラフ巨大地震や台風・集中豪雨等に関する最新の知見を紹介いただくとともに、これらにそなえての「減災」の考え方や「自助」「共助」「公助」の役割分担を確認するため、講演会を開催しました。

#### ■開催要領

◇日 時：令和元年7月24日（水） 18:30～20:30

◇場 所：立命館大学大阪梅田キャンパス5F多目的室

◇参加者：○名

◇内 容：

○「災害に先手を打ち 迎え撃つためには

～南海トラフ地震が教える減災への対策のあり方～」

一般社団法人ADI災害研究所 理事長 伊永 勉 氏

○「いのちを守る防災気象情報

～あなたとあなたの大切な人を災害から守るために～」

株式会社ウェザーマップ所属気象予報士

関西テレビ報道ランナー 気象キャスター

一般社団法人ADI災害研究所 理事 片平 敏 氏

#### <概要報告>

「災害に先手を打ち 迎え撃つためには ～南海トラフ地震が教える減災への対策のあり方～」

伊永 勉氏

自助、共助、公助はもちろん、先手を打つことが重要である。

高齢化が進み、20年後には75歳以上の人人が高齢者の過半数になる。大阪は、住民票を置いていない高齢者が多い。平日、高層マンションに住み（病院などに通いやすい）土日は芦屋などの自宅に帰る。（把握が難しく、）災害上、問題となる。

土砂災害が去年は増え、東京・茨城・栃木だけが無被害であった。

大阪市は、元海だった部分が多いので軟弱地盤が多い。30cm沈下するといわれている。

#### <南海トラフ地震>

昔は、南海、東南海、東海のどれかが起こるという想定だったが、東日本大震災以来、南海トラフという言い方に変わった。東日本大震災は、断続的に起きた4つの地震でどんどん津波が増幅し、水門を閉めに行った人たちが亡くなった。これを教訓に、連続地震としての「南海トラフ地震」の対策を行いうようになった。



地震時には、直接被災地とならなくても1週間、日常生活が中止する地域が出てくる。(1週間くらいで次の地震が来る可能性が高いため) JR東海は全てとめる計画となっており、直接被災地でなくても経済的打撃を受け、商品が不足する。また、被災地に電力供給するのに大阪の計画停電がありうる。そのため、水・食料の備蓄やスマホバッテリーの充電は必須。

長周期振動の地震は、上の階ほど振れが大きく、2分間数m動く。高層階において家具で体を打つ、救助が来ない、手遅れになる、という都市特有の災害が起きる。これにより東京・名古屋・大阪で数千人が亡くなることが予想される。低層階で震度3ぐらいのときに、高層階で震度6強の損傷度階級4になる。

#### <自助と共助>

阪神大震災で助かった人の割合は、自助：67% 共助：31% 公助（消防、自衛隊）：2%  
(全体16万4千人)

震源地に近い北淡町では、どの部屋にどの人が寝ていたかわかつていて近所の人が助け出した。

早く見つけるためには、近所の人たちしか居ない。

自助：自分と家族で生き残る。⇒先手を打つ

- 外出中の避難場所つくり 釜石では津波避難の家として通学中に立ち往生した時に飛び込める家がある。子供110番の家と一緒に、親が家にも学校にもいない時に探せる。
- 社会人は、帰る時間を家族に伝える。

共助：地域や事務所の助け合いで生き延びる⇒迎え撃つ

- 自主防災組織はなかなか作れない。
- 自治会役員は自分が何かしなくてよい。労力、物、場所を知っていて動かせることが重要。人脈や地域のことを知っているという点で高齢の人でよい。
- シートルでは、○○さんの家という単位で役割を担う。主人がいなくても家族が動く。

#### <避難行動支援制度>

要配慮者、避難行動要支援者を事前に行政が名簿登載し、名簿情報を避難支援に関わる関係者（避難支援関係者）に平常時から提供し、地域の中で、災害発生時に避難要支援者に対し、避難支援や安否確認等を行うことを目指した仕組みが、避難行動支援制度。

要配慮者、避難要支援者とは、自分の力で避難できない人。入院、施設にいる人は除く（施設が責任をもつ）。これまで、ばらばらの名簿が管理されていた。消防、社会福祉協議会、民生委員に本人の同意をもって開示され、災害時には同意なしに開示される。郵便での同意率は全国で17%

避難支援者とは、助けてあげる人で義務はなく、安否確認だけでも良い。全部できる人探すのは困難。  
＜その他＞

- ・官民連携として、有償でスペシャリストを登録して協力してもらうことが有効。例えばタイピングが早い高校生等は被災時の情報入力には有力。
- ・ローリングストック：半年位の消費期限の備蓄を常に2倍位買っておいて切れないようにし、消費しながら備蓄する。
- ・ランニング備蓄：1年目に必要な物資の半分だけ購入する。2年目に25%、3年目に必要量に達するようにすると一度に消費期限が切れることがない。
- ・非常持ち出し品：入れ歯、眼鏡、補聴器、喘息吸入器、服薬中の薬等、替えが聞かないものは手の届くところに置いておく。

### 「いのちを守る防災気象情報～あなたとあなたの大く大切な人を災害から守るために～」

片平 敦 氏

ハード対策で賄いきれない部分を気象情報で補う。

精度が上り、表現が変わっている気象情報を活用し、自治体の避難情報だけに頼らず、自ら行動することが重要。

#### ＜警報の精度向上＞

防災情報を上手に活用し、災害が起こる前に先手を打つ。警報の精度が向上しており、警報はもはやオオカミ少年ではない。

2010年5月



大阪が5区分に分かれていたところを市町村ごとに警報を出すようにした。それまでは、警報を関係ない地域にも出す必要があり、無駄が多くかった。

2017年7月

警報などの発表基準を「雨量」から「指數」にした

過去の災害が起きた指數で警報を発表。雨量ではなく、災害の危険度の高まりを評価・判断する。

避難情報（自治体が発令）：避難勧告、避難指示「行動指南型」

→この地区は危険、逃げてという情報、地域を絞り込まれる。いわれたら従うべき「警戒レベル情報」。

防災気象情報（気象台が発表）：大雨警報、土砂災害警戒情報「状況把握」

→危険な地区にいる人は各自の判断で逃げてという情報。精度がそこまでないので「警戒レベル相当情報」として危ないと思ったら自主的に避難する。

警報の発表は情報早いので、住民の自主的な行動を促す必要がある。

避難勧告などの発令判断に資する情報は、警報を元にするので時間がかかる。

#### ＜警戒レベルの運用開始＞

2019年から情報の伝え方が変わった。（5段階）今までの情報に新たな表現が追加された。

レベル1 心構えを高める。

レベル2 避難行動の確認

レベル3 高齢者など（避難に時間がかかる人）は避難。 避難準備情報

例：氾濫警戒情報、洪水警報、大雨警報（土砂災害）※川の近く、斜面の近くの人が注意

レベル4 全員避難

避難勧告、避難指示（緊急）レベル5に限りなく近い。避難指示を待ってはいけない。

例：氾濫危険情報 土砂災害警戒情報

レベル5 既に災害発生

・大雨・洪水警報の危険度分布

災害発生情報

氾濫発生情報、大雨特別警報、災害が既に発生している蓋然性が高い。

レベル3、4で地域、家族で声を掛け合い、安全なところに避難 レベル5になるのを待たない

【参考】<https://news.yahoo.co.jp/byline/katahiraatsushi/20190531-00128140/>

<危険度分布（2017年～）>

警報よりも地域が詳細に表示される。危険度分布で今後危ないところがわかる。スマホで確認できる。

（表示例）濃い紫：災害が過去に起きたレベル

薄紫：数時間先の予告。災害による命の危険が差し迫っている。

### 質疑応答

1. Q：避難情報を市町村が出さない時はどうするか？

A:気象情報を見たら、危険度分布をみて自主的に判断し、自治体の情報を待たない。

事前にハザードマップで今いる場所がどの災害の危険があるのかを知る必要がある。

テレビの天気予報が放送されていない時は、携帯電話の通知が2019年7月からはじまっているので利用できる。

2. Q：ハザードマップで色がついていない斜面地は大丈夫か。

A:なぜ大丈夫なのか、行政に聞く。過去（災害が）起こっていないということだと思うが調べる。

誰かに言われただけだと身につかない。

自主防災組織で活動を活発にするには、小学校を巻き込む。子どもに言われるとうまくいく。また、大人と小学生の間に学生が入ると世代の隔たりが減るためうまくいく。

「防災」を掲げると人は来ないため、学校の懇談で待っている親の所に行く等し、興味を持たせる。

興味持った数人をリーダーにして10人呼んできて勉強会をしてもらう。中学生が狙いで、地元にいて体力がある人材。

3. Q：良いタイミングで自治体が発令を行うガイドラインはある？

A:ガイドラインが今年出た。自治体は気象の通知を見て、範囲を絞り込み、薄紫になったら、避難情報を出すという流れになると良い。ガイドラインは誰がやってもできるように作ってある。各自治体の地域防災計画に組み込みたいが進んでいない。

和歌山県全市町村は土砂災害警戒情報→避難準備情報を出すという申し合わせをしている。

以上

## 第11号様式の3（第5条関係）

## 政務活動記録簿（研修会参加）

会派・議員名 樋口清士

年月日	令和元年8月2日（金）12:00～18:15			
政務活動先	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り			
研修名	第17回がん政策サミット2019			
参加者	90名（地方議員、行政担当者、医療関係者、患者関係者、民間企業）			
参加目的	がん対策の取組課題について知見を得るため			
内容、結果等	<p>基調講演：</p> <p>「がん登録を中間評価に活用する」（松田智大氏）      「患者体験調査から何を見ることができるか」（東尚弘氏）      「計画評価のトレンド」（前村聰氏）      「評価の基礎知識」（埴岡健一氏）      都道府県別グループワーク：「がん計画模擬中間評価」</p> <p>研修の効果：がん対策推進計画の中間評価に係る知見を今後の奈良県における取組のチェックに活用する。</p>			
研修参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額
	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り	近鉄（往復）	生駒～京都	1,380円
		近鉄（往復）特急代金	大和西大寺～京都	1,020円
		新幹線（往復）	京都～東京	28,220円
	宿泊費	円	内訳：	
	研修費	3,000円	内訳：研修会資料代	9
	補助	△5000円	内訳：研修補助費	10
合計	28,620円（）			
備考	添付資料：別紙の通り			

注 研修に関する資料や会場の写真等を添付してください。

## 第17回 がん政策サミット 2019

### ～みんなの知恵を集め、効果的な中間評価を効率的に実行しよう～

日程: 2019年8月2日(金)～4日(日) 会場: アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

主催: 特定非営利活動法人がん政策サミット

来年は、都道府県がん対策推進計画の中間評価のタイミングで、今年中に、中間評価とは何かを理解し、だれが何をどのように作業するか決めておくことが大切となります。自分の県の計画が患者に届く道筋ができているか、順調に進んでいるか、患者・医療現場・地域の状態が良くなっているか――を患者視点で点検することになります。計画期間後半に重点課題に向けた優先施策を打つことで、患者にとってより良い成果を得ることにつなげましょう。

これまでみんなで取り組んできた学びとして、「六位一体かつ全国一体で、好事例を“いいとこ取り”することが効果的」ということがありました。がん計画の最終目標（患者の状態）はいずれの地域でもほぼ共通しています。ならば、中間評価においても、47都道府県が個々に苦労するよりも、みんなの知恵を共有して実施した方がいいはずです。今回は、がん計画から1分野を取り上げ、「模擬中間評価」をしてみましょう。その経験を持ち帰り、他分野にも応用することで、中間評価本番をより効果的・効率的にやり遂げることを目指します。

#### ===== プログラム =====

■8月2日(金) 開場 11:00

オープニング

12:00 開会 参加者自己紹介

休憩

アップデートセッション

13:30 本サミット企画の説明

事務局

「がん登録を中間評価に活用する」

国立がん研究センターがん対策情報センター

がん登録センター 室長

松田 智大さん

「患者体験調査から何を見ることができるか」

国立がん研究センターがん対策情報センター

がん登録センター長兼がん臨床情報部長

東 尚弘さん

「計画評価のトレンド」(仮)

日本経済新聞社東京本社

編集局社会部 次長

前村 聰さん

15:10 休憩

## 本プログラム

- 15:30 「評価の基礎知識」  
特定非営利活動法人がん政策サミット 理事長 増岡健一
- プログラム全体説明  
「みんなで、だれでもできる、計画評価」 事務局
- 16:20 都道府県別グループワーク【がん計画模擬中間評価】①  
整合性評価「ロジックモデルが論理的につながっているか」
- 気づき、困りごとの共有  
まとめ
- 17:45 全員写真撮影
- 18:15 終了  
19:30まで会場を解放いたします。情報交換の場にご活用下さい。

■8月3日(土) 開場 9:10

- 9:30 本日のながれ説明 事務局
- 9:45 都道府県別グループワーク【がん計画模擬中間評価】②  
実行評価「決めたことを実行しているか」  
効果評価「アウトプットがアウトカムの改善をもたらしているか」
- 昼食休憩
- 13:00 グループワーク②気づき、困りごとの共有
- 14:00 ステークホルダー別 お茶休憩
- 14:30 都道府県別グループワーク【がん計画模擬中間評価】③  
費用対効果評価「費用や労力を正当化できるだけの効果があったか」  
評価報告書に書きおろす
- 模擬中間評価ワーク結果の掲示  
まとめ
- 17:00 中締め - 参加者ひと言コメント
- 18:00 終了

■8月4日(日) 開場 9:10 患者関係者のみ(どの立場の方も傍聴できます)

9:30 中間評価における患者の役割

11:00 クロージング - 参加者ひと言コメント

12:00 終了

- 講演スライドは、8月15日までに、がん政策サミットのウェブサイトにて公開いたします。
- 開催中の、録音・録画は禁止させていただきます(事務局を除く)。
- 患者関係者の交通・宿泊費精算は、サミット開催中に受付にご提出ください。  
後日の受付はいたしかねます。
- お弁当・お水のごみは、決められた方法での廃棄にご協力ください。  
なお、ご自身でお持ちになった ペットボトル等のごみはお持ち帰りをお願いいたします。

本冊子は「第17回がん政策サミット2019」の資料として、当NPOの2019年度年間活動へのご寄付を基に作成いたしました。ご寄付は、法人の活動趣旨・活動計画に賛同いただいたうえでの資金提供であり、事業内容に影響を与えるものではありません。



MSD 株式会社



サノフィ株式会社

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社  
武田薬品工業株式会社 中外製薬株式会社 日本イーライリリー株式会社 ヤンセンファーマ株式会社

アストラゼネカ株式会社 小野薬品工業株式会社 個人のみなさま

(2019年7月15日現在・手続中を含む)

計画推進の歴史

がん登録を中心評価に活用する

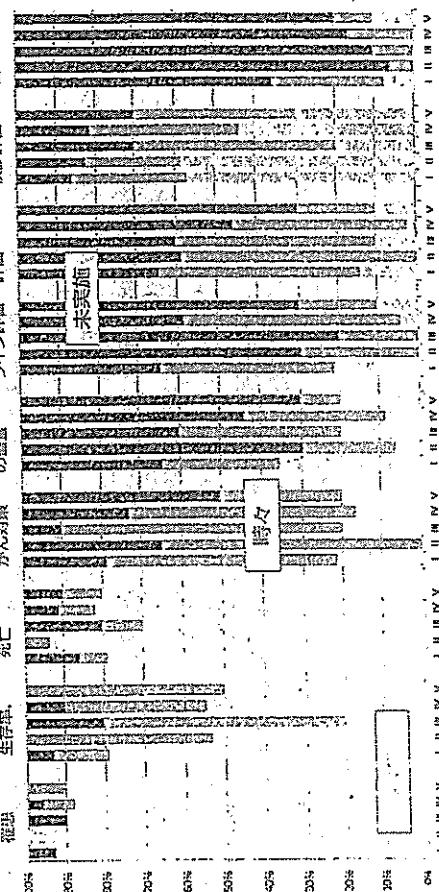
国立研究開発法人国立がん研究センター  
松田 智大

ガルニッシュミックス2019

四

This image is a collage of various Japanese documents and diagrams, likely from a survey report. It includes several rectangular boxes containing text and diagrams, some with arrows pointing to specific sections. One box at the top right contains the text '中間健康調査 ガイドブック' (Intermediate Health Survey Guidebook). Another box on the left contains the text '厚生省研究班 分担研究者による大阪府立成人病センター現状調査報告書' (Report on the Current Status of the Osaka Prefectural Adult Disease Research Center by Researchers in Charge). There are also several small diagrams, including a starburst-like shape on the left and a triangle on the right.

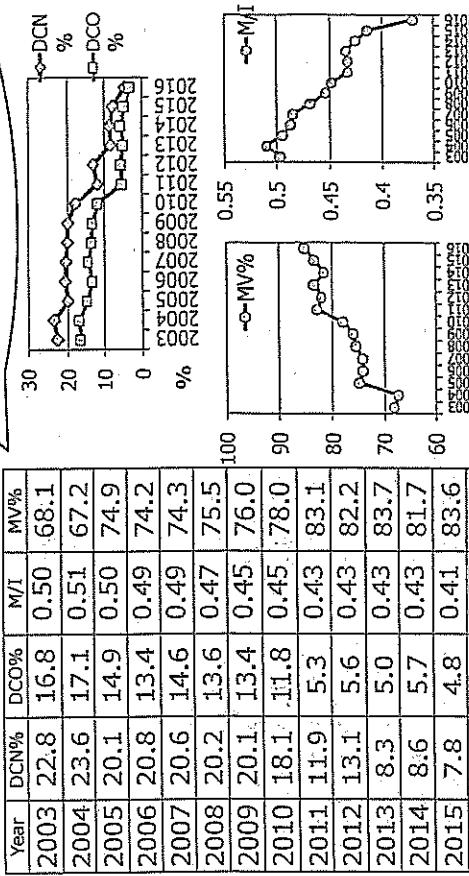
欧洲でのデータ利用



I: North-west, II: Continental, III: South-east, IV: South-west, V Central east Siesling et al.

上段の精子

DCN、DCO：低い方がよい  
MV：高い方がよい  
M/I：0.4程度



185.4

## 実際、国の以前の評価では

H22.6.15 中間評価(抜粋)

- 指標：
- ・リニアックの保有率、放射線療法部門の有無（箇）
  - ・外平化学療法室の有無（箇）
  - ・ドックラグ（活/成績）
  - ・放射部療法、外平化学療法の実施件数（箇）
  - ・緩和ケアチーム設置医療機関数（箇）
  - ・緩和ケア研修会の修了者数（活）
  - ・医療用麻薬消費量（箇）
  - ・がん患者在宅死亡割合（効果？活動？）
  - ・ガイドライン散（箇）
  - ・クリティカルパス整備率（箇）
  - ・相談支援センター研修修了者配置率（活）
  - ・がん対策情報センターの「ンブレット」の種類数（箇）
  - ・受診率、検診受診率（活）

## 患者体験調査から 何を見ることができるか

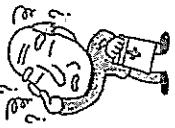
令和元年8月2日  
都道府県がん対策担当者セミナー  
国立がん研究センターがん対策情報センター  
がん登録センター／がん臨床情報部  
東 尚弘

## 患者の実感？

- どうやって評価⇒患者に聞くしかない
- 誰に聞くかで変わるのは？  
→患者全体の代表性が重要
- 全国の患者団体から無作為抽出の上で、  
「患者体験調査」

## そもそも

- がん対策の必要性が呼ばれたのは：
- 第2期がん対策推進基本計画策定時（H23年ごろ）  
患者の間で「良くなつた」という実感が乏しかつた  
=がん対策推進基本計画ができるで施策は行われているが、  
それが成果を上げているのが不明だった



## 日本人は「評価」が嫌い？

- ・ イギリス人は、歩きながら考える
- ・ フランス人は、考えた後で走り出す
- ・ スペイン人は、走ってしまった後で考える

笠信太郎『ものの見方について』（1966年）

さて、日本人は...  
→少し考えてから歩くけど、歩き始めると考えない？

（前村私見）

## 計画評価の新トレンド ～評価で計画の再構築を

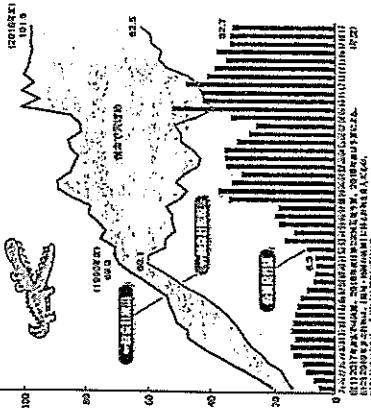
2019年8月2日（金）  
2019年度がん政策サミット  
日本経済新聞 社会部 前村聰

## 国の予算 = 評価ほばなし

- ・ 国会 = 予算委員会 → 決算委員会
- ・ 会計検査院によるチェックも一部のみ
- ・ 高度経済成長 → 増え続ける財源  
→ 成果について、評価してこなかつた...

### 3 日本の財政の状況

（1. 日本の財政の状況）  
おじい様、奥山と一対して伸びる一方、資源はバランスが崩れました。  
1990年代後半にかけて、子の引け足りず、その差額は借金である公債の逆行で大きくなっています。



借金漬け財政  
→効率的な資源活用  
→「評価」の導入

= 限られた資源を有効に活用する

## 第11号様式の3（第5条関係）

## 政務活動記録簿（研修会参加）

会派・議員名 樋口清士

年月日	令和元年9月26日（木）9:30～16:00 令和元年9月27日（金）9:30～14:15			
政務活動先	インテックス大阪			
研修名	第3回学校・教育総合展			
参加者	教育関係者、行政職員、地方議員、企業等（昨年度実績（3日間）：来場者総数＝29,729人、セミナー受講者数＝17,252人）			
参加目的	ICT教育を含む学校教育の先進的な取組状況（先進事例、導入技術等）の把握			
内容、結果等	<p>参加セミナー：</p> <p>「アクティブラーニングを効果的に行う教育施設事例の紹介」（崔東珍氏・森田舞氏）      「教育の情報化の最新動向と今後の展望」（高谷浩樹氏）      「日本の学びを変えていく～埼玉県と町田市の最新教育事例」      （高井潤氏・金木圭一氏・スチュアト・ミラー氏）      「NECが語るこれからの学びを変えるエビデンスに基づくICT教育とは」（林良司氏）      「AI時代の教育～今求められる小・中・高校・大学の教育改革」（鈴木寛氏）</p>			
※研修受講の効果を明記のこと	研修の効果：新たな学習指導要領を踏まえた学校教育（ICT教育を含む）の先進的な取組状況を把握し、今後の奈良県の教育行政に対するチェックに活用する。			
研修参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額
	インテックス大阪	近鉄けいはんな線（2往復）	生駒～長田	1,560円
		大阪メトロ（2往復）	長田～中ふ頭	1,480円
	宿泊費	円	内訳：	
	研修費	円	内訳：	
合計	3,040円（）			
備考	添付資料：別添の通り			

注 研修に関する資料や会場の写真等を添付してください。

# セミナープログラム【事前申込制】

詳細・お申込みはWebへ  
▶ [www.edix-osaka.jp/seminar/](http://www.edix-osaka.jp/seminar/)

## 1 関西学校・教育総合展 基調講演 受講無料

K-1 9月26日[木]11:45~12:30 [ICT時代の教]	K-2 9月26日[木]13:30~14:15 [AI時代の教]	K-3 9月27日[金]13:30~14:15 [AI時代の教]
教育の情報化の最新動向と今後の展望	AI戦略と大学教育:今後の展望	AI時代の教育 ～今、求められる小・中・高校・大学の教育改革～

(会)日本学術振興会 顧問/内閣府人気知能実行会議 座長 安西祐一郎
------------------------------------

東京大学/慶應義塾大学 教授(元文部科学省大臣官房)
----------------------------

詳しくお申込みはWebへ

▶ [www.edix-osaka.jp/seminar/](http://www.edix-osaka.jp/seminar/)

古川合ゼ 主催者 リードエグジビションジャパン(株)

EDIX 関西事務局

〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-28-2

新宿野村ビル18階

E-mail: [edix@reedexpo.co.jp](mailto:edix@reedexpo.co.jp)

TEL: 03-6625-7680 (受付時間: 9:00~18:00 土日祝除)

FAX: 03-6625-7681

## 2 関西教育ITソリューションEXPO 特別講演 受講無料

S-1 9月25日[水]11:45~12:30 [ICT時代の教]
-----------------------------------

「合格力」と「学び続ける力」の育成 ～河合塾実施の共通テスト対策イベント結果から見た課題～
--

大学入学者選抜改革の動向
--------------

講師選定中 最新情報詳細は ▶ <a href="http://www.edix-osaka.jp/seminar/">www.edix-osaka.jp/seminar/</a>
---

S-5 9月27日[金]9:30~11:00
------------------------

NECが語る「これからの学びを変えるエビデンス(合理的根拠)に基づく教育ICTとは？」
---

S-6 9月27日[金]11:45~12:30 [ICT時代の教]
-----------------------------------

吉本興業(株) 社外取締役 吉田信貴
--------------------

## 3 関西教育ITソリューションEXPO 専門セミナー(研修会)

ED-1 9月25日[水]11:45~12:30 [ICT時代の教]
------------------------------------

日本の学びを変えていく ～埼玉県と町田市の最新教育事例～
---------------------------------

ED-2 9月25日[水]13:30~14:15 [ICT時代の教]
------------------------------------

高大接続改革の課題と現状
--------------

ED-3 9月26日[木]15:15~16:00 [ICT時代の教]
------------------------------------

日本語の「学び」を語る ～近大流コミュニケーション戦略～
---------------------------------

ED-4 9月26日[木]13:30~14:15 [ICT時代の教]
------------------------------------

高大接続改革の課題と現状
--------------

ED-5 9月26日[木]10:00~10:45 [ICT時代の教]
------------------------------------

教育界のノーベル賞「世界の教員10人」に選ばれた教師が語る！～アクティブラーニングを使った「見える英語」を育てる授業とは？～
--

ED-6 9月26日[木]11:45~12:30 [ICT時代の教]
------------------------------------

高大接続改革の課題と現状
--------------

MS-1 9月25日[水]11:45~12:30 [ICT時代の教]
------------------------------------

Society5.0と「未来の教室」
--------------------

MS-2 9月25日[水]13:30~14:15 [ICT時代の教]
------------------------------------

MS-3 9月26日[木]11:45~12:30 [ICT時代の教]
------------------------------------

MS-4 9月26日[木]15:15~16:00 [EdTech]
-----------------------------------

情報活用能力の育成におけるプログラミング教育
------------------------

MS-5 9月27日[金]10:00~10:45 [STEM教育]
-----------------------------------

EdTechが変える教育の未来
-----------------

HS-1 9月25日[水]19:30~20:15 [STEM教育]
-----------------------------------

学校における働き方改革 ～中央教育審議会の答申等について～
----------------------------------

HS-2 9月26日[木]13:30~14:15 [STEM教育]
-----------------------------------

HS-3 9月27日[金]10:00~10:45 [STEM教育]
-----------------------------------

HS-4 9月25日[水]19:30~20:15 [STEM教育]
-----------------------------------

教員の働き方改革の必要性と取組み方
-------------------

HS-5 9月26日[木]13:30~14:15 [STEM教育]
-----------------------------------

HS-6 9月27日[金]10:00~10:45 [STEM教育]
-----------------------------------

HS-7 9月25日[水]19:30~20:15 [STEM教育]
-----------------------------------

初等教育の学びを変える アクティブラーニングを効果的に使う教育施設事例の紹介
---

HS-8 9月26日[木]13:30~14:15 [STEM教育]
-----------------------------------

HS-9 9月27日[金]10:00~10:45 [STEM教育]
-----------------------------------

HS-10 9月25日[水]19:30~20:15 [STEM教育]
------------------------------------

初等教育の学びを変える アクティブラーニングを効果的に使う教育施設事例の紹介
---

HS-11 9月26日[木]13:30~14:15 [STEM教育]
------------------------------------

HS-12 9月27日[金]10:00~10:45 [STEM教育]
------------------------------------

HS-13 9月25日[水]19:30~20:15 [STEM教育]
------------------------------------

初等教育の学びを変える アクティブラーニングを効果的に使う教育施設事例の紹介
---

HS-14 9月26日[木]13:30~14:15 [STEM教育]
------------------------------------

HS-15 9月27日[金]10:00~10:45 [STEM教育]
------------------------------------

受講料金 12,457円 無料

(税込) 9月20日[金]まで 4,000円/枚

9月21日[土]以降 5,000円/枚

※個人による申込がござっておりません。団体申込の場合は、委託料を送付いたします。E-mailまたはFAXにて「支払申込書」をお送りいたしますので、当日セミナーへ受講料引換所にて提示ください。

※当日のセミナーはお申込後のキャンセル料、割引は一切お受けできませんので、ご了承ください。ご本人が講習で参りない場合は代理の方の出席をお願いいたします。

西日本・関東・中部・近畿・北海道のセミナー

E-mail: [edix-con@reedexpo.co.jp](mailto:edix-con@reedexpo.co.jp)

TEL: 03-5259-9056(受付時間 10:00~18:00 土日祝除)

FAX: 03-3295-7007(24時間受付)

第3回

# 関西 教育ITソリューション EXPO

専門セミナー(小中高校コース)

◆ ED-3 ◆

## 日本の学びを変えていく

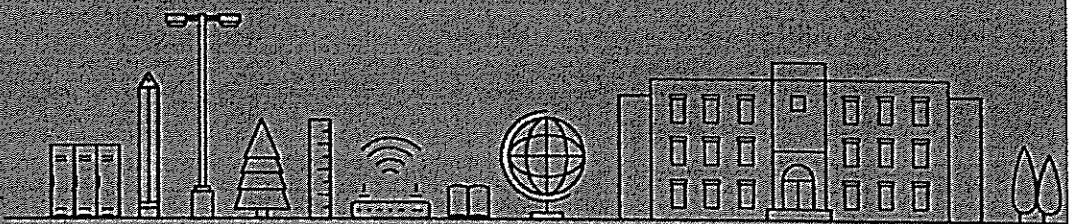
### ～埼玉県と町田市の最新教育事例～

会期:2019年9月25日[水]～27日[金]

会場:インテックス大阪

主催:リード エグジビション ジャパン株式会社

# 日本の学びを変えていく ～埼玉県と町田市の最新教育事例～



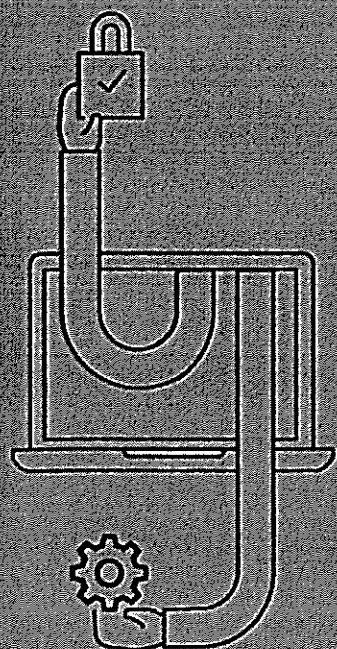
Google for Education

## 成功事例: 埼玉県



[g.co/edu/saitamavideo](https://g.co/edu/saitamavideo)  
[g.co/edu/saitamaprint](https://g.co/edu/saitamaprint)

Google for Education



## 日本の学びを変えていく ～埼玉県と町田市の最新教育事例～

Google for Education

### 成功事例: 町田市



[g.co/edu/machidavideo](http://g.co/edu/machidavideo)  
[g.co/edu/machidaprint](http://g.co/edu/machidaprint)

Google for Education

## 第11号様式の3（第5条関係）

## 政務活動記録簿（研修会参加）

会派・議員名 樋口清士

年月日	令和2年1月21日（火）10:30～17:00 令和2年1月22日（水）10:00～16:50				
政務活動先	東洋大学白山キャンパス井上円了ホール				
研修名	第43回都市計画セミナー（日本都市計画学会） 「スマート化が進む時代の都市の空間像とマネジメント」				
参加者	約400人/日（大学教員、行政職員、民間事業者、大学生等の都市政策関係者）				
参加目的	スマートシティの考え方、先進事例に係る知見を得る。				
内容、結果等	セミナーの内容：別添チラシの通り。				
※研修受講の効果を明記のこと	研修の効果：スマートシティの考え方及び先進事例を把握し、今後の奈良県の都市計画のあり方を検討する際の参考とする。				
研修参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	東洋大学白山 キャンパス	近鉄（往復）	生駒～京都	1,400 円	証11,証12
		近鉄（往復）特急代金	大和西大寺～京都	1,040 円	22,30
		新幹線（往復）	京都～東京	27,940 円	23,29
		東京メトロ（往復）	東京～本駒込	400	24,28
	宿泊施設	東京メトロ（往復）	本駒込～後楽園	340	25,27
	宿泊費	8,910 円	内訳：ホテルウイングインターナショナル後楽園		26
	研修費	12,220 円	内訳：参加費（振込み手数料を含む）		21
	合計	52,250 円（ )			
備考	添付資料：別添の通り。				

注 研修に関する資料や会場の写真等を添付してください。

# スマート化が進む時代の 都市の空間像とマネジメント

## —多様な技術をマネジメントする新たな都市計画を構想する—

近年、社会を大きく変える技術革新として、IoT(Internet of Things)や人工知能(AI)、ビッグデータ、ロボットが注目を集めています。Society 5.0で実現する社会は、IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されることで、今までにない新たな価値が生み出されたり、人工知能やビッグデータを活用することで必要な情報が必要な時に提供されたり、また、ロボットや自動運転といった技術は都市が抱える様々な問題を解決する可能性があります。

一方で、このようなスマート化が進んだ都市は、これまでの土地利用や施設配置の考え方の範疇を超えるものであり、都市の空間像や計画のあり方を新たに構想し、これらの多様な技術をマネジメントする新たな手法も必要になります。

今回のセミナーでは、第一部で「スマートシティが目指す社会像」を概観し、第二部において「スマートシティを支える要素技術」を把握した上で、第三部において「技術革新を踏まえた新しい都市計画をどのように構想するか」を考えます。

**開会挨拶** 10:30-10:35

舟引 敏明 日本都市計画学会 常務理事

**【第一部：スマートシティが目指す社会像】**

**基調講演** 10:35-11:35

Society5.0の考え方と次世代スマートシティの構築に向けて  
出口 敦 東京大学 教授／日本都市計画学会 副会長

**基調報告** 11:35-12:35

国土交通省におけるスマートシティの取組み  
徳永 幸久 國土交通省 大臣官房技術審議官(都市局担当)  
**講 演** 13:30-14:10  
デジタルシフトによる地方創生・スマートシティ  
アーキティクチャーの全貌  
中村 彰二郎 アクセンチュア株式会社

**【第二部：スマートシティを支える要素技術】**

**事例報告** 14:10-14:50

デジタル変革がもたらす都市のイノベーション  
一次世代移動空間整備に向けた映像解析技術活用  
永野 善之 日本電気株式会社

**事例報告** 14:50-15:30

MaaSアプリ「EMot」と共通データ基盤「MaaS Japan」  
のご紹介

職垣 洋平 小田急電鉄株式会社

**事例報告** 15:40-16:20

スマートシティを実現するデジタルデータインフラ  
～データの地産地消で先行する札幌市～  
大西 佐子子 日本電信電話株式会社

**講 演** 16:20-17:00

テクノロジーのコモディティ化とコミュニティの多様化  
による持続可能な都市空間のデザインとマネジメント  
神武 直彦 展應義塾大学 教授

日 時 2020年1月21日(火)・22日(水)

会 場 東洋大学 白山キャンパス  
井上円了ホール

参加費 2日間共通 会員 12,000円 非会員 15,000円  
1日のみ 会員 8,000円 非会員 10,000円  
※学生:2日間共通 3,000円／1日のみ 2,000円

申込方法 裏面の参加申込書よりFAXまたはE-mailにてお申込みください(申込期限:2020年1月15日)

問合せ先 日本都市計画学会 都市計画セミナー係  
Tel. 03-3261-5407  
E-mail. seminar43@cplj.or.jp

**【第三部：技術革新を踏まえた新しい都市計画をどのように構想するか】**

**講 演** 10:00-11:00

Society5.0におけるSocial Design & Management  
～第4次産業革命期におけるスマートシティ戦略～  
東 博暢 株式会社日本総合研究所

**講 演** 11:00-11:35

都市におけるAIとビッグデータの可能性  
吉村 有司 東京大学 特任准教授

**事例報告** 11:35-12:10

松山市におけるスマートシティの取組み  
石井 明紀 松山市

**事例報告** 13:10-13:45

大手町・丸の内・有楽町地区におけるスマートシティの取組み  
重松 真理子 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

**事例報告** 13:45-14:20

ICTで産学官を“つなぐ”神戸のまちづくり  
長井 伸晃 神戸市

**講 演** 14:20-15:20

スマート+コシバクトシティの実現に向けて  
森本 章倫 早稲田大学 教授／日本都市計画学会 専務理事

**パネルディスカッション** 15:30-16:50

新技術をどのように“まち”に適用し、都市課題・社会課題を解決するか

【コーディネーター】

小泉 秀樹 東京大学 教授／日本都市計画学会 理事

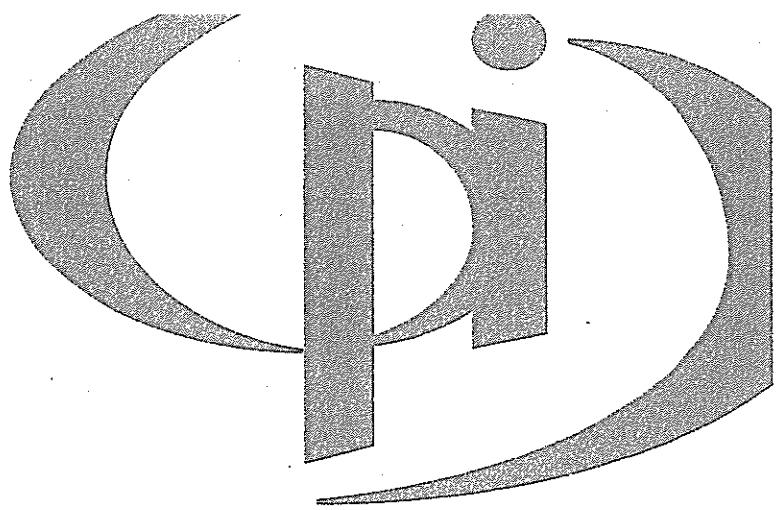
【パネリスト】

東 博暢 株式会社日本総合研究所

筒井 祐治 国土交通省

出口 敦 東京大学 教授／日本都市計画学会 副会長

森本 章倫 早稲田大学 教授／日本都市計画学会 専務理事



第43回  
都市計画  
セミナー

スマート化が進む時代の都市の空間像とマネジメント

—多様な技術をマネジメントする新たな都市計画を構想する—

# City Planning Seminar 都市計画セミナー

## スマート化が進む時代の都市の空間像とマネジメント —多様な技術をマネジメントする新たな都市計画を構想する— 目 次

Society5.0の考え方にもとづく次世代スマートシティの構築に向けて	1-1
出口 敏 東京大学 教授／日本都市計画学会 副会長	
国土交通省におけるスマートシティの取組	1-21
徳永 幸久 国土交通省 大臣官房技術審議官（都市局担当）	
デジタルシフトによる地方創生・スマートシティアーキティクチャーの全貌	1-59
中村 彰二郎 アクセンチュア（株）	
デジタル変革がもたらす都市のイノベーション	
～次世代移動空間整備に向けた映像解析技術の活用～	1-81
永野 善之 日本電気（株）	
MaaS アプリ「EMot」と共通データ基盤「MaaS Japan」のご紹介	1-107
藤垣 洋平 小田急電鉄（株）	
スマートシティを実現するデジタルデータインフラ	
～データの地産地消で先行する札幌市～	1-123
大西 佐知子 日本電信電話（株）	
テクノロジーのコモディティ化とコミュニティの多様化による 持続可能な都市空間のデザインとマネジメント	1-149
神武 直彦 慶應義塾大学 教授	

---

Society 5.0における Social Design & Management	
～第4次産業革命期におけるスマートシティ戦略～	2-1
東 博暢 （株）日本総合研究所	
都市におけるAIとビッグデータの可能性	2-29
吉村 有司 東京大学 特任准教授	
松山市におけるスマートシティの取り組み	2-53
石井 朋紀 松山市	
大丸有スマートシティコンソーシアムの取組	2-69
畠松 真理子 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会	
ICTで産学官を“つなぐ”神戸のまちづくり	2-77
長井 伸晃 神戸市	
スマート＋コンパクトシティの実現に向けて	2-99
森本 章倫 早稲田大学 教授／日本都市計画学会 専務理事	

## 第11号様式の3（第5条関係）

## 政務活動記録簿（研修会参加）

会派・議員名 樋口清士

年月日	令和2年2月5日（水）10:00～16:30			
政務活動先	メルパルク京都			
研修名	地方議員研究会（公共施設マネジメントと公会計改革）			
参加者	15名（地方議員）			
参加目的	ファシリティマネジメントの考え方、先進的取組について知見を得る。			
内容、結果等	講演（南学氏）： 「成功する公共施設マネジメント」 「公会計改革と公共施設との密接な関係」			
※研修受講の効果を明記のこと	研修の効果：公共施設の統廃合、有効活用の手法についての知見を得て、今後のファシリティマネジメントの進め方を検討する際の参考とする。			
研修参加に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額
	メルパルク京都	近鉄（往復）	生駒～京都	1,400円
		近鉄（往復）特急代金	大和西大寺～京都	1,040円
	宿泊費	円	内訳：	
	研修費	30,000円	内訳：研修会参加費	35
	合計	32,440円	( )	
備考	添付資料：別紙の通り			

注 研修に関する資料や会場の写真等を添付してください。

南 学

東洋大学客員教授

# 成功する公共施設マネジメント

「拡充」から「縮充」へ  
機能ベースの施設再編成

東洋大学客員教授  
南 学

「力示」はなくとも「資産」がある

公会計改革と公共施設との関連

## 第11号様式（第5条関係）

## 政務活動記録簿（県外・県内視察）

会派・議員名 樋口清士

年月日	令和2年2月24日（月）13:00～17:00				
政務活動先	東京都区部				
政務の目的	県事業の実施状況の把握				
相手方	東京国立博物館、奈良まほろば館				
内容、結果等 ※視察の効果を明記のこと	<p>東京国立博物館視察： 令和元年度事業である「出雲と大和展」の内容、入込み状況等を視察。 今後の奈良県の歴史文化資源を活用した観光PRのあり方を検討する際の参考とする。</p> <p>奈良まほろば館視察： 奈良まほろば館の利用状況等を視察、ヒアリング。 奈良まほろば館移転に際しての課題、新規施設の有効活用のあり方を検討する際の参考とする。</p>				
視察活動に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	東京国立博物館・奈良まほろば館	近鉄（往復）	生駒～京都	1,400 円	証14
		近鉄（往復）特急代金	大和西大寺～京都	1,040 円	37,41
		新幹線・JR	京都～神田	14,170 円	38
		JR	神田～東京	160 円	39
		新幹線	東京～京都	14,170 円	40
	宿泊費	円	内訳：		
会費	円	内訳：			
合計	30,940 円（）				
備考	添付資料：別紙の通り				

注 研修に関する資料や会場の写真等を添付してください。

特別展  
日本書紀成立  
1300年

# 特別展 日本書紀成立 1300年 出雲と大和

日本のはじまり、ここにあり。

#### **EDUCATIONAL SECTION**

# IZUMO AND YAMATO THE BIRTH OF ANCIENT JAPAN

2020.1.15(水)–3.8(日)

〔開始時間〕午前9時30分～午後5時

\*金曜・土曜日は午後9時まで開館 \*入館は閉館の30分前まで

〔休館日〕月曜日、2月25日(火) ※ただし、2月24日(月・休)は開館

TNM 東京国立博物館 平成館  
TOKYO NATIONAL MUSEUM (UEENO PARK)

「上傳」東京國立博物館、山根健、奈良兜

NHK-NHKワロモーション

◎ 本報記者 魏延新聞社

[後援] 文化厅



beyond  
2020

